

河川砂防技術研究開発公募(河川技術分野)平成24年度採択テーマ 中間評価結果

【河川堤防の安全対策に関する技術研究開発】

テーマ名および概要		提案者名	評価	中間評価コメント
テーマ	河川堤防の複合外力に対する総合的安全性点検のための解析手法と対策工法に関する技術研究開発	愛媛大学 岡村 未対	a	地震・浸透・洗掘による堤体の変形・破壊メカニズムの解明に貢献することが期待できる。研究が着実に進捗していることから、現行計画のとおり推進することが妥当と評価する。
概要	本研究では、外水、降雨、地震、津波およびそれらの複合作用時の実用的な河川堤防性能評価法の開発と対策工法の検討を行う。			
テーマ	地震・洪水およびその複合災害に対する統合型河川堤防評価技術の開発	名城大学 小高 猛司	a	複合災害に対する堤防評価について有用な知見が得られている。研究は着実に進捗していることから、現行計画のとおり推進することが妥当と評価する。
概要	粘土から礫地盤堤防の耐震性評価法ならびに堤体内構造物周りのゆるみ領域も考慮した洪水時安定性評価法を提案するとともに、信頼性解析を用いて実務への適用を試みる。			

河川砂防技術研究開発公募(水防災技術分野)平成24年度採択テーマ 中間評価結果

【都市域等流域の浸水状況の予測等に関する技術研究開発】

テーマ名および概要		提案者名	評価	中間評価コメント
テーマ	沿岸低平地における河川、下水道、海岸のシームレスモデルに基づく実時間氾濫予測システムの構築	東京大学 佐藤 慎司	a	実時間の氾濫予測に関して、河川モデルと下水道モデルの結合など、研究は着実に進捗していることから、現行計画のとおり推進することが妥当と評価する。
概要	鶴見川下流低平地における浸水・氾濫現象を対象として、河川、下水道、海岸の流体モデルをシームレスに統合し、情報提供まで見据えて高速かつ柔軟な予測システムを構築する。			

評価の凡例

- a:非常に優れた研究であった。
- b:優れた研究であった。
- c:条件付きで評価できる(研究費の減額等)
- d:優れた研究ではなかった(研究の打ち切り)